

# 茨城大学教育学部附属特別支援学校 グランドデザイン 2023

新教育課程で目指すもの  
= 21世紀の「自立と社会参加」

- ・情緒的に安定し、生活の中で楽しみや豊かさを感じながら生きていくこと。

【高等部】で目指すもの  
個に応じた「自立と社会参加」

- ・現在、将来の社会とつながり、周りとかかわり合って自分らしく自己実現を果たしていく力を育てる。

【中学部】で目指すもの  
集団生活へのよりよい適応と自立的な生活

- ・様々な場所で生活できる力と、人と豊かにかかわることのできる個性を肯定する力を育てる。⇒自己肯定感の蓄積

【小学部】で目指すもの  
日常生活の基礎的・基本的な力

- ・身辺処理能力、集団参加の基礎的な態度、技能を身に付け、国語・算数を生活力育成の教科、音楽・図工・体育を生きる実感教科として、基礎的な学力を育てる。

<教育目標>

☆たの・まな(楽しくて、学びのある)学校の実現☆

- ・一人一人の能力と特性に応じてそれぞれの可能性を最大限に伸ばし、豊かな心と健康な身体を育て、自分らしく周りとかかわり合い、社会とつながることで自己実現を果たしていく力をもった人間を育成する。

<学校経営方針>

- 児童生徒の思いや保護者、教師の願いを基に、時代のニーズを踏まえながら公教育の一端を担い、茨城大学教育学部附属特別支援学校として「日々の教育の一層の充実」「教育実習の充実」「研究の推進」「積極的な地域貢献」の4つの使命の達成に努めるとともに、教育環境の整備と安全管理の徹底を図る。

<日々の教育>

- 子供も教師もみんなの笑顔があふれる「楽しい学校」の実現
  - ◆一人一人が活躍できる場の設定に努め、自ら取り組み、互いの個性を認め合うことができるキャリア教育を推進する。
  - ◆国語/算数・数学の授業内容や方法を見直し、学習成果の質を確保する。
  - ◆大学の知的資源(カリキュラム開発センター)を活用し、音楽・図工/美術・体育の教科学習に工夫を重ね、情操教育の充実を図る。→第4期計画
- 教師一人一人の得意分野を活かした魅力ある授業実践
  - ◆教師一人一人の専門性を活かし、児童生徒の指導に当たる。
  - ◆様々な情報を共通理解し、児童生徒の教育に当たる。
  - ◆様々な研修を通して、新たな知見と広い視野の獲得に努め、教育に当たる。
- 子供の可能性を引き出すICT教育の推進
  - ◆学習効果を高めるためのICTを活用した指導内容・方法の工夫に努める。

<研究>

- 授業力向上のための研究・研修の充実
  - ◆新教育課程の1年次に当たり、特に音楽・図工/美術・体育の3教科について授業づくりに注力し、実践の蓄積と分析を進める。
  - ◆大学と連携し、授業力向上のための実践的な研究・研修の充実を図る。
- 特別支援教育を牽引するための専門性の向上
  - ◆これからの特別支援教育の在り方について、インクルーシブ教育との関係性を再考・構築し、地域の特別支援教育に貢献すべく、積極的な研究・研修に取り組む。

<教育実習>

- 生き生きと実習に取り組める環境づくり
  - ◆実習内容や方法を見直し、実習生の教育の質を確保する。
  - ◆大学、附属学校園との連携を強化し、実習内容の充実を図る。
- 実習生同士が認め合う実習の推進
  - ◆お互いの指導力を高め合うことができるよう、実習生の自主性を大切にしながら、サポートできる体制づくりに努める。

<地域貢献>

- 地域と共にある学校の実現
  - ◆特別支援教育の資源を活かし、発達が気になる幼児、児童、生徒及び保護者への支援を積極的に行う。
  - ◆交流及び共同学習、校外や大学構内での清掃活動や就労体験など、地域や社会とつながる教育活動を推進する。
  - ◆地域とともに防災、安全教育を推進するとともに、地域の避難所としての機能の充実を図る。  
※学校見学会 6月28、29、30日(水、木、金) 12月14、15日(木、金)
- 研究と連動した、研究成果の積極的発信による地域の特別支援教育の推進
  - ◆公開研究会等を通して、本校の取り組みを広く発信することで、地域の特別支援教育を推進する。
- 魅力あるPTA活動の推進
  - ◆PTAがともに支え合い親睦を深めることができる活動や研修内容の充実を図る。

児童生徒の輝く未来に向けて、学校と保護者が一丸となって頑張ろう、「チームふとく」!

